

Contents

第5土曜特集

循環器病学の未来

——基本計画から考える 循環器病学のグランドデザイン

1187 はじめに——循環器病学が向かうべき方向とは？……………小室一成

循環器病におけるゲノム・オミックス研究の将来展望

1190 循環器病におけるゲノム研究は何を目指すのか？……………森田啓行

1197 肥大型心筋症のゲノム解析結果をどう活かすか……………久保 亨

1203 拡張型心筋症の遺伝子バリエーションは心不全の発症に関与するか？……………朝野仁裕

1211 ブルガダ症候群の突然死リスクを遺伝学的にどう評価するか……………蒔田直昌・石川泰輔

1217 周産期心筋症に遺伝子変異は関与するのか……………神谷千津子

1223 胸部大動脈瘤・解離の遺伝子解析とゲノム医療……………武田憲文

1229 脂質異常症ゲノム解析は何をもたらすか？……………多田隼人

1236 東アジア最大の循環器病リスク遺伝子*RNF213*多型……………石山浩之・猪原匡史

1241 遺伝的リスクを“見える化”するポリジェニックリスクスコア (PRS) とは何か……………伊藤 薫

慢性炎症・多臓器連関・メカニカルストレスから捉える循環器疾患

1250 腸内細菌は循環器疾患の原因か……………山下智也・平田健一

1257 肺動脈性肺高血圧症における慢性炎症の起源はどこか……………中岡良和

- 1265 心肝連関梶谷憲司・他
- 1271 自律神経ネットワークの異常が心血管制御を破綻させる藤生克仁
- 1278 心腎連関の実体は何か?尾上健児
- 1286 大動脈解離における血管周囲脂肪の意外な役割とは上田和孝
- 1293 循環器医にとってのクローン性造血(CHIP)佐野宗一・安西 淳
- 1298 メカノトランスダクションによる心臓血管発生制御福井 一・他
- 1303 心不全発症におけるTGF- β シグナルを介した
心臓線維芽細胞-心筋細胞相互作用侯 聡志
- 1311 心不全特異的線維芽細胞が心不全発症に関与する小室 仁

AI・数理モデルによる循環器疾患診療・研究の変貌

- 1318 AIを循環器疾患の診断にどう活かすか?楠瀬賢也
- 1326 自然言語処理の循環器診療への応用の課題と展望荒牧英治
- 1330 循環器病学におけるマルチモーダルAIの可能性小寺 聡
- 1336 AIによって発作性心房細動はみつかるか?笹野哲郎
- 1343 AIによって心電図から心不全を診断できるのか荷見映理子
- 1348 IoTを用いた在宅循環器診療の未来弓野 大
- 1354 デジタルツイン・デジタルバイオマーカーをいかに活用するか?田村雄一
- 1359 人工知能の循環器基礎研究への応用と展望湯浅慎介
- 1363 心臓シミュレーションをどう臨床に活かすか杉浦清了・他



大きく変貌する循環器疾患の診療と研究

- 1370 臨床ビッグデータをどう循環器予防に活かすか?金子英弘・松岡聡志
- 1380 ナッジ理論を用いた循環器疾患予防とは?水野 篤・野出孝一
- 1386 モバイルヘルスによるデジタル循環器学の現在地と未来野村章洋
- 1394 ビッグテックは循環器診療をどう変えるか?木村雄弘
- 1400 メタバースとExtended reality (仮想現実・拡張現実・複合現実) がもたらす
“医療3.0”杉本真樹・末吉巧弥
- 1405 オンライン管理型心臓リハビリテーションの将来展望谷口達典
- 1411 ニューロモデュレーションデバイスを活用した心不全医療の未来松下裕貴・朔 啓太
- 1419 循環器病の予防・治療ワクチンの開発中神啓徳
- 1425 新たな心筋再生技術——ダイレクトリプログラミング村岡直人・家田真樹
- 1432 循環器病領域における疾患iPS細胞の臨床応用のこれまでとこれから伊藤正道

- 1437 次号の特集予告



サイドメモ

- 1198 検出されたバリエーションの病原性
- 1217 妊婦の病歴・家族歴の把握
- 1229 わが国における遺伝学的検査の保険収載
- 1234 *ABCG5*および*ABCG8*遺伝子機能低下型変異キャリア
- 1242 遺伝子変異とバリエーション
- 1243 GWASで同定される疾患関連バリエーション
- 1245 遺伝的な負の選択圧
- 1293 白血球における後天的Y染色体喪失(mLOY)
- 1312 シングルセルRNAシーケンス法(scRNA-seq)
- 1318 独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)
- 1373 Life's Simple 7からLife's Essential 8へ
- 1400 メタバース (metaverse)
- 1422 アジュバント